



大規模改修工事が予定されている松田中学校校舎

賛成討論

平野 由里子 議員

議案60号、令和4年度一般会計補正予算（7号）に原案賛成の立場から討論いたします。

この補正予算には、松田中学校大規模改修の工事請負費3億19万円が計上されています。元は令和5年度に実施される予定だったものですが、昨秋11月に神奈川県の方から事前前倒しの依頼が出されました。令和4年度中に事業を開始することにより、財源的に優遇されるというものでそれを受けて町から、補正予算として昨年末12月議会で上程されました。財源優遇というのは、地方債の交付税参入率が、通常では元利償還金の30%のところ、50%に上がるということで、それにより町の実質負担額が予定よりも5225万円減るとのことです。また、事業が前倒しになることにより、予定している特別教室の空調設置工事や窓の網戸設置が夏に間に合います。（普通教室は既に設置済みです。）他の今回の工事箇所は、エレベーター1基の設置と、屋上防水や外壁改修、教室の窓を断熱効果の高いペアガラスに交換、また外構工事が予定され、続いて令和6年度には内部の改修も行われ、魅力的な学び舎となるでしょう。使用しながらの改修工事なので、手順を工夫し、学習環境に配慮してスムーズに進めていただくことを期待し、私の賛成討論といたします。

反対討論

田代 実 議員

令和4年度一般会計補正予算（第7号）に反対の立場で討論を行います。

松田中学校整備工事3億1300万円が提案されました。この工事は、校舎外壁の改修や屋上防水工事、エアコンの設置、本校舎のエレベーター整備などです。また、6年度には校舎内の壁や床などを改修するために1億2000万円を加え、総額4億3000万円余りです。

本校舎は築52年、特別教室棟も30年余り経過し老朽化が著しいので、この規模の改修工事では、満足のいく整備にはなりません。特に、技術教室棟のエレベーター設置は予算がないので昇降機とのことですが、車いす利用の生徒には介助者が必要です。そして、生徒や保護者からは狭くて使いづらいと言われ続けている下駄箱や、ホーム教室のカバン収納用ロッカーの改修などが含まれていません。

さらに、現在の基準にはそぐわない狭い教室を広くすることや、老朽化した給排水工事なども入っていないことから、今回の整備工事は明らかに不十分です。本来なら本校舎の建替も視野に入れて検討すべきという考えから、委員会は補正予算を否決しました。

6年度に、この大規模改修工事が完了となりますが、その後は相当な期間、国庫補助による改修はできません。現在、避難所に指定されている新耐震基準に満たないDランクの建物、松田中学校屋内運動場は大災害時に町民の命を守る施設ですが大規模補強工事は、どのようにお考えでしょうか。

一方、計画行政推進のために策定した「松田町第6次総合計画」は最上位のものですが、この改修工事の位置づけはなく、今回の補正予算で提案されたことは如何なものでしょう。

以上のことから、松田中学校大規模改修工事はゼロベースの視点で見直す必要があるということ、私の反対討論とします。